

機関誌「雪氷」・「雪氷の研究」・BGR・全国大会講演予稿集掲載論文等 利用許諾基準

2007年1月1日施行

	利用主体	利用対象	形式	手段・媒体等	学会の書面による許可	条件	学会へ報告義務	注
1	著者	自己の論文及び図や表など論文の一部	電子版	自分個人のサーバ	不要	A,B	不要	受理された著者最終稿の電子版であること。出版PDFをアップロードしたい場合は学会のオンライン版の該当論文にリンクすること。
2			電子版,紙版	研究者仲間へ配布	不要	A	不要	
3			紙版	研究報告書(不特定多数に配布しないもの)	不要	A	不要	
4		自己の論文の図及び表	無修正のまま	論文, 研究報告書, 本, 電子媒体など	要	A		Review Article は不要
6	雇用機関 (大学、法人、企業など)	被雇用者の論文あるいは図や表など論文の一部分	全文PDFあるいはその一部	自機関のサーバ	不要	A,B	要(サーバ搭載前にそのURLを連絡。)	自機関のサーバとは、著者の所属機関のサーバであって、アップロードや削除を著者が直接コントロールできないものをいう。 機関外部へ販売の場合は許可が必要。
7			紙版	被雇用者の論文のみからなる論文集、紀要、本：内部使用,または,広報用だが非営利,無料配布のもの	不要	A	要	
8	「著者または著者雇用機関」以外の第	掲載論文	紙版,PDF	本や,論文選集,その電子版	要	A,B	電子版は、サーバ搭載前にそのURLを連絡。	著しく営利的な場合は課金することもある。
9	三者	掲載論文の図および表	紙版,電子版	Review Article を含むすべての論文,本,電子媒体	要	A,B		

条件 A：紙版、電子版ともに、著作権表示を含み一切変更しないこと。部分引用の場合は、完全な引用情報を附すこと。

条件 B：電子版においては、雪氷学会オンライン版の当該論文にリンクすること。

注記

- # 1 複数の機関にまたがる研究プロジェクト（チーム）は雇用機関に準ずる。
- # 2 CD-ROM 版は紙版に準じて扱う。
- # 3 本基準につき疑義が生じた場合は、各編集委員会が判断する。